

一級河川武茂川における 多自然川づくりの取り組みについて

栃木県 県土整備部

河川課 企画治水担当 今井 勇士

大瀬やな(那珂川)

本日の説明内容

- 1 栃木県の魅力、水産資源の重要性
- 2 河川工事における現状と課題
- 3 対策（多自然川づくり研修会の開催）
- 4 武茂川における多自然川づくりの取り組み
- 5 効果検証
- 6 まとめ

～多自然川づくり～

- ① 河川が本来有している自然の営み
- ② 多様な河川景観
- ③ 地域の暮らしとの調和



栃木県の魅力



引用: Google Earth

栃木県の観光地や名産品



日光東照宮 (日光市)



佐野ラーメン



足利フラワーパーク (足利市)



いちご

栃木の 溪流釣り場

栃木県内の 県内では概ね3月から9月にかけて解禁となります。詳しくは各流域にお問合わせください。

「マス釣りの聖地」
中禅寺湖

天然のイワナ・ヤマメが豊富
鬼怒川上流

渓谷と温泉の町
箒川・那珂川上流

60cm級のサクラマスも釣れる!
那珂川

本流ヤマメの宝庫!
鬼怒川中流

深山渓谷
渡良瀬川上流

小溪流から本流まで
渡良瀬川

里の清流
思川

栃木の溪流で釣れる魚たち

- イワナ
- ヤマメ・サクラマス
- ニジマス
- カジカ



水産資源の重要性



大瀬やな(那珂川)

やなに訪れる観光客数
年間約15万人 (2021年)



箒川

アユ釣りによる経済効果(2017年調査)
 > 平均消費額：6千円/人回
 > 県内の経済波及効果は約13億円

釣り人へのアンケート調査(2017年調査)

設問9 栃木県内の那珂川のアユ釣りで満足できる釣果が得られない場合、どうしますか？

次から選び、必要に応じて下線部に記入してください。

- ① 県内の那珂川でアユ釣りを続ける
- ② 県内の 箒川、鬼川 川でアユ釣りをする
- ③ 県外の 碓氷川 川でアユ釣りをする
- ④ 県内でアユの代わりに _____ (魚種名) を釣る
- ⑤ その他 10年前に神奈川県よりアユのみだりアユが移住した。

現状と課題

堆積土除去工事後の状況



定規断面で変化がなく
自然環境に配慮していない



多自然川づくりの考えが
浸透していない

堆積土除去工事後の状況



土木職員なりに
環境に配慮しているが…

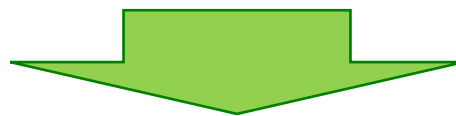


土木と水産が考える
環境配慮にずれが生じている

対策

多自然川づくりの普及促進

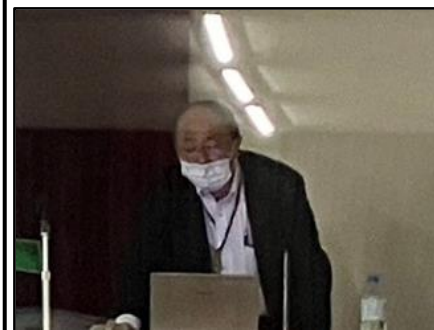
多自然川づくりのありかたについて
垣根を越えた意見交換を行う



県土整備部と**農政部**が連携し
「多自然川づくり研修会」を開催

研修会実施状況

講師の方々



日本大学 安田教授



馬頭高等学校 佐々木教諭



近自然河川研究所 有川代表



水産試験場 吉田主任研究員

多自然川づくり研修会

開催日 令和4年11月14日

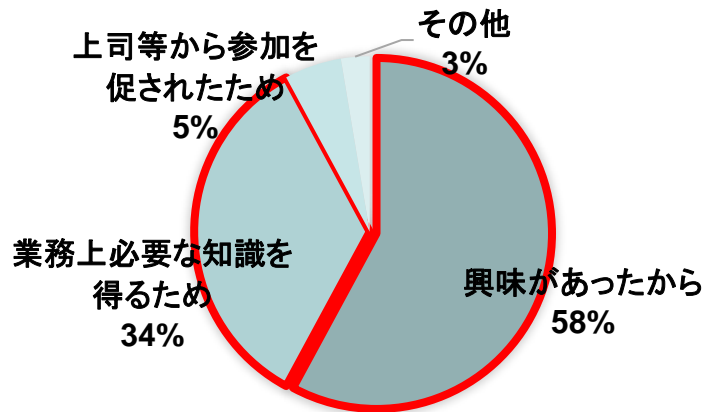
出席者 85名

- ・ 県土整備部 42名
- ・ 農政部 29名 (農業土木15名、水産行政14名)
- ・ 関係機関 14名 (東京水産振興会、水研等)

アンケート結果

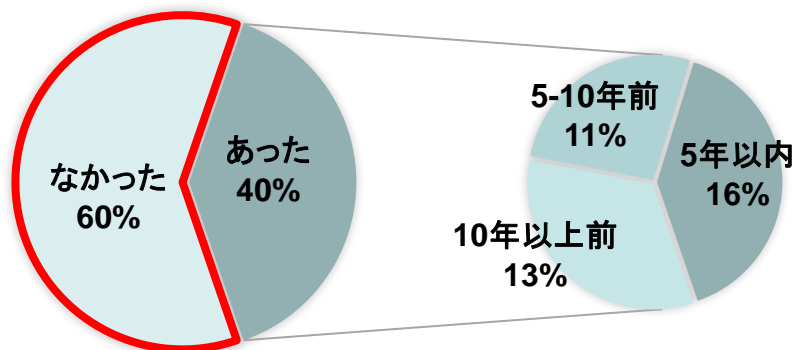
質問1

今回の研修会はどのような動機で参加しましたか。



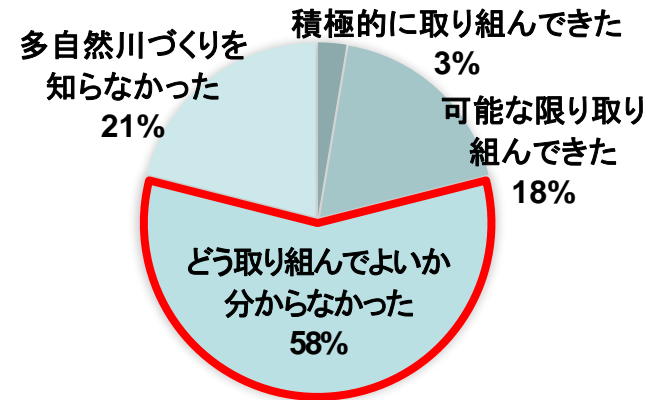
質問2

これまで、多自然川づくりを学ぶ機会がありましたか。



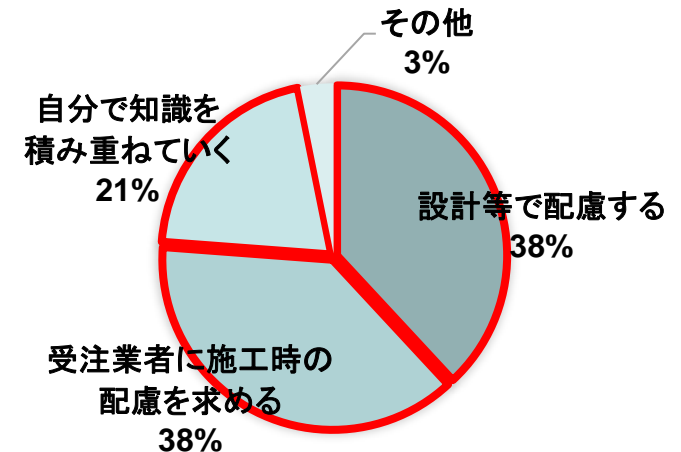
質問3

多自然川づくりにどのように取り組んできましたか。また、取り組まなかった場合の理由は何ですか。

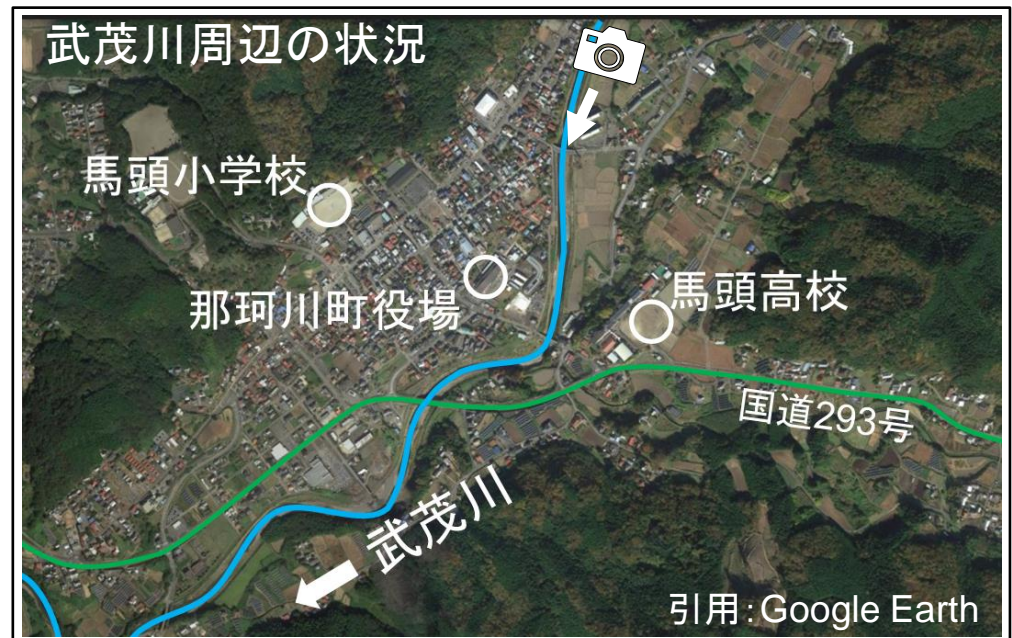
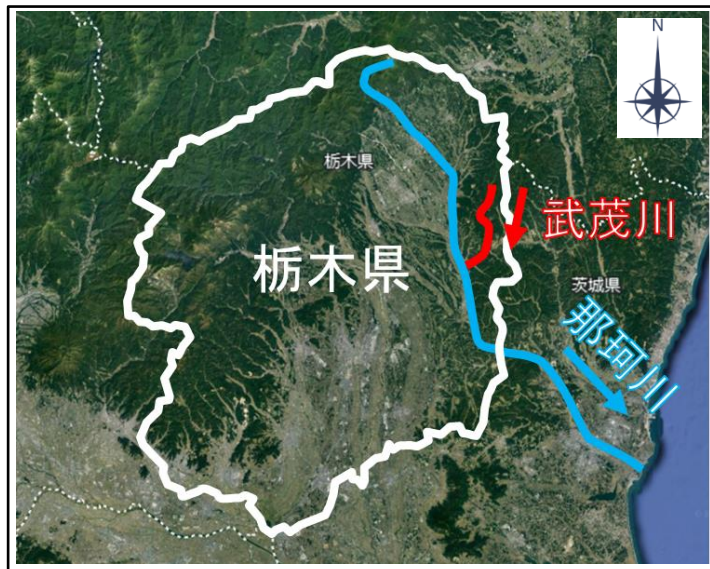


質問4

今回の研修内容を今後の業務にどのように生かしていきますか。



武茂川の状況



施工内容の検討



平成28年航空写真



令和4年航空写真

過去に撮影された航空写真を参考に、川がどのように変化してきたかを把握し、対策内容を検討



現地打合せ状況

工事実施に先立ち
関係者でイメージを共有

施工内容の検討

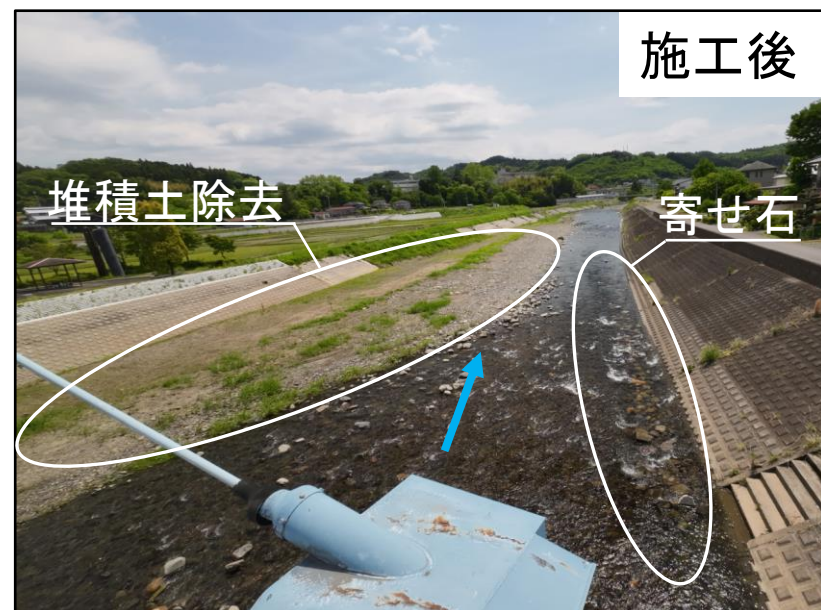


施工箇所①

現状：護岸の前面が洗掘されている。

対策：現地採取した自然石を活用して寄せ石を行う。

目的：護岸基礎部を保護する。
河岸形状や川幅を変化させることで多様な水際を形成する。



施工内容の検討



施工箇所②

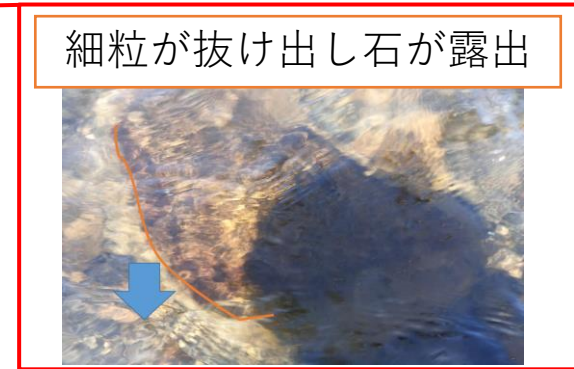
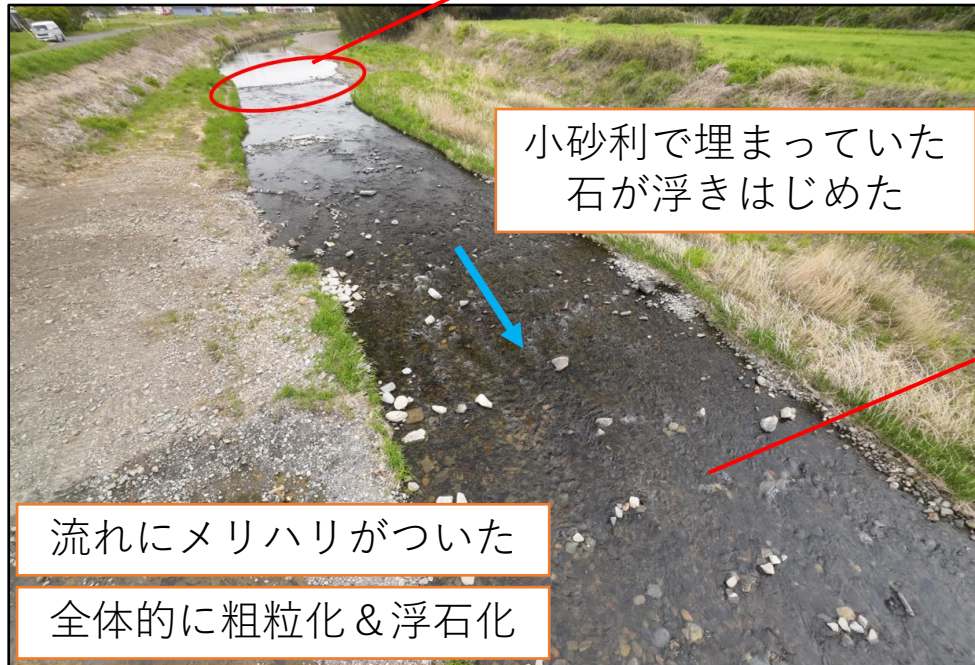
現状：瀬や淵が不明瞭。

対策：現地で発生した自然石を利用して横工を設置する。

目的：自然な瀬淵構造を創出する。



効果検証



日時 : 令和5年8月24日
参加者 : 近自然河川研究所 有川氏
馬頭高校 佐々木教諭、生徒2名
那珂川南部漁業協同組合
県土木職員 (河川課、烏山土木事務所)
県水産職員 (農村振興課、水産試験場)

今年度の予定

- ・多自然川づくり研修会を実施予定
 - 今年度は、座学に加え現地研修を行うことを検討中
- ・一級河川黒川において自然環境に配慮した取組を実施予定
 - 8月25日及び10月24日に、施工内容を検討

位置図



現地写真



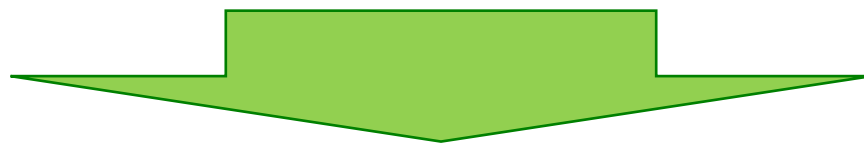
検討状況



まとめ

土木と水産関係者が垣根を越えた意見交換を実施

環境に配慮した取組を河川工事に併せて実施



多自然川づくりが当たり前となるよう
更なる普及促進に努める

主な関係者

多自然川づくり研修会にてご講演いただいた方々

- ・ **日本大学理工学部** **安田陽一 教授**
- ・ **近自然河川研究所** **有川崇 代表**
- ・ **栃木県立馬頭高等学校** **佐々木慎一 教諭**

地域の関係団体

- ・ **地元の漁業協同組合**

